



Y.Hatanaka

THE HANSHIN JUVENILE FILLIES

第77回 農林水産省賞典 阪神ジュベナイルフィリーズ (GI)

1着 2着 3着 4着 5着
本賞 65,000,000円 26,000,000円 16,000,000円 9,800,000円 6,500,000円
付加賞 1,288,000円 368,000円 184,000円



レース映像は
コチラでご覧
いただけます。

牝、2歳、除未出走馬および未勝利馬
負担重量 馬齢重量

2025.12.14 阪神 晴・良 芝1600m (国際) (指定)

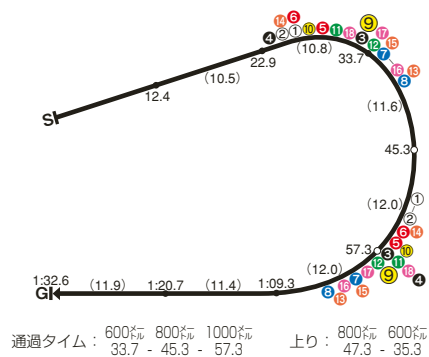
順位	馬番	馬名	性別	年齢	斤量	騎手	タイム (管差)	コーナー 通過順位	上り (600m)	馬体重 (増減)	単勝 オッズ	調教師	レーティング
1	⑨	スターアニス	牝	2	55	松山弘平	1:32.6	8-7	34.5	478(±0)	5.0②	高野友和(栗東)	113
2	⑤	ギャラボーグ	牝	2	55	川田将雅	1¼	12-13	34.3	500(±0)	7.2④	杉山晴紀(栗東)	110
3	⑦	タイセイボーグ	牝	2	55	西村淳也	クビ	6-6	35.0	486(+16)	11.5⑥	松下武士(栗東)	109
4	⑪	スウィートハビネス	牝	2	55	高杉史朗	クビ	11-9	34.5	440(-2)	50.0③	北出成人(栗東)	109
5	④	アランカール	牝	2	55	北村友一	1¼	18-9	34.7	438(±0)	2.6①	斉藤崇史(栗東)	106
6	⑥	アルパナス	牝	2	55	坂井瑠星	1	14-15	34.6	464(-16)	7.1③	田中博康(美浦)	104
7	⑩	ショウナンカリス	牝	2	55	池添謙一	1¼	10-9	35.2	418(±0)	72.4⑩	加藤士津八(美浦)	101
8	⑦	マーゴットラヴミー	牝	2	55	武 豊	クビ	4-4	35.8	428(-6)	8.2⑤	小林真也(栗東)	101
9	②	レディーゴール	牝	2	55	松若風馬	アタマ	16-17	34.6	450(-6)	313.3⑩	池添 学(栗東)	101
10	⑩	イヌボウノウタゴエ	牝	2	55	酒井 学	1¼	13-13	35.2	474(-4)	114.5⑨	西田雄一郎(美浦)	99
11	⑭	スタンピングレディ	牝	2	55	和田竜二	クビ	16-15	35.1	456(±0)	55.9⑩	高木 登(美浦)	98
12	③	ミツカネベネラ	牝	2	55	津村明秀	ハナ	8-9	35.5	444(±0)	24.1⑧	鈴木伸寿(美浦)	98
13	⑬	ローズカリス	牝	2	55	田口貴太	1¼	3-3	36.4	430(-3)	305.7⑦	大橋勇樹(栗東)	96
14	⑫	メイプルハッピー	牝	2	55	岩田康誠	1¼	6-7	36.1	476(-12)	175.6⑨	北出成人(栗東)	93
15	⑮	ヒズマスタースピース	牝	2	55	藤岡佑介	クビ	1-1	36.9	488(-8)	19.6⑦	国枝 栄(美浦)	93
16	⑬	ラストイングスノー	牝	2	55	菱田裕二	1	4-4	36.7	470(+6)	133.4⑧	池上昌和(美浦)	91
17	③	フロムレイプン	牝	2	55	吉村誠之助	3½	2-2	37.6	470(-2)	155.8⑧	坂口智康(栗東)	84
18	①	アンヘリータス	牝	2	55	F.ジェル	¾	14-18	35.5	422(-6)	266.9⑩	吉村圭司(栗東)	82

単勝⑤600円(2¼%) 複勝②200円(2¼%) ⑤230円(3¼%) ⑦260円(5¼%) 枠連③-⑤990円(5¼%)

馬連⑤-⑨2,020円(8¼%) ワイド⑤-⑨710円(7¼%) ⑨-⑩830円(11¼%) ⑤-⑦780円(9¼%)

馬単⑨-⑤3,710円(13¼%) 3連複⑤-⑨⑦6,470円(24¼%) 3連単⑨-⑤⑦30,180円(105¼%)

5重勝⑤⑬④⑦⑨⑩13,054,500円(38票) 対象競走：中京10R/阪神10R/中山11R/中京11R/阪神11R



通過タイム：600m 800m 1000m 上り：800m 600m
33.7 - 45.3 - 57.3 47.3 - 35.3

アラカルト

- ・松山弘平騎手は阪神ジュベナイルフィリーズ初勝利。J R A重賞は25年6勝目、通算54勝目
- ・高野友和調教師は阪神ジュベナイルフィリーズ初勝利。J R A重賞は25年4勝目、通算32勝目
- ・ドレフォン産駒はJ R A重賞通算7勝目
- ・芝1600m戦未経験の馬の勝利は24年アルマヴェローチェに続く通算15回目
- ・非当選馬 6頭(ウィングブルー、コスモレッド、サンブライト、ノールビーナス、パースデフライト、ホワイトオーキッド)

スターアニス *Star Anise*

牝 栗毛 2023.2.4生
北海道安平町 ノーザンファーム生産
馬主・吉田勝己氏 栗東・高野友和厩舎
馬名意味・中国原産の香辛料、八角

ラタフィアUSA系 F14

ドレフォンUSA Drefong 鹿毛 2013	Gio Ponti 鹿毛 2005	Tale of the Cat Chipeta Springs
	Eltimaas 鹿毛 2007	Ghostzapper Najecam
エピセアローム 栃栗毛 2009	ダイワメジャー 栗毛 2001	サンデーサイレンスUSA スカーレットブーケ
	ラタフィアUSA 芦毛 1999	Cozzene Sakura Fabulous

5代までのインブリード：Northern Dancer M5×M5

INTERVIEW

山根健太郎 厩舎長（ノーザンファーム早来）

達成感のあるレースとなりました

我々の目標として阪神JF出走と、その先にある優勝を掲げてきました。そのために育成時に何ができるのかをスタッフとともに探求してきた結果、スターアニスとアランカールが出走という形で叶えてくれました。2頭を応援するために競馬場に行きましたが、両馬とも素晴らしい状態でした。自分だけでなくスタッフにとっても達成感のあるレースとなりました。

S.Naka



母の雪辱を果たし、2歳牝馬の頂点へ

で進行。馬群の隊列も縦に伸びていくなか、スターアニスの松山弘平騎手は馬と呼吸を合わせて中団に腰を落着ける。未勝利戦、サフラン賞を連勝し、3番人気の支持を集めたアルバンヌは出足がひと息で後方を追走。一方、五分のスタートを切った後、リズム重視の運びで最後方に下げたアランカールは3コーナーから進出を開始した。迎えた直線は力尽きた先行勢を呑み込み、横に散開した差し馬たちが勝利を争う形勢に。早めに前に取り付いたタイセイボーグが先頭を窺い、馬群を捌いて伸びてきたギャラボーグの脚色も目立ったが、外へ持ち出し、ひと呼吸置いてから仕掛けられたスターアニスは一枚上の末脚を發揮。坂の上りで先頭へ抜け出すと、ギャラボーグの反撃も寄せ付けずに勝利を手にした。

ドレフォン産駒の本馬は6月に小倉芝1200mの新馬戦でデビュー。初陣は5着に敗れたものの、2戦目は7馬身差で圧勝し、続く中京2歳Sではゴール前、内に切れ込んでラチと接触する若さを覗かせながらも、クビ差の2着に食い下がった。母エピセアロームはスプリントの重賞を2勝した半面11年の本レースで8着に敗れた経歴の持ち主。血統的に、2000mの延長を懸念する声も聞かれたこの日だが、マイルの距離にも十分な適性を示して母の雪辱を果たし、2歳女王の栄冠を掴み取った。

父ドレフォンUSA

北米9戦6勝（BCスプリント^{G1}、キングズビショップ^S_{G1}、フォアゴ^S_{G1}）、米チャンピオンズプリンター、18年から供用
〔代表産駒〕**ジオグリフ**（皇月賞^{G1}、札幌2歳^S_{Gm}）、**ミッキーファイト**（JBCクラシック^J_hI、帝王賞^J_hI、アンタレス^S_{Gm}）、**スターアニス**（本馬）、**アドマイヤデイトナ**（UAEダービー^{G2}）、**アンデスピエント**（関東オークス^J_hII）、**マテンロウコマンド**（兵庫チャンピオンシップ^J_hII）、**トウカイマシェリ**（兵庫ジュニアグランプリ^J_hII）、**デシエルト**（中日新聞杯^G_m）、**ウォーターリヒト**（東京新聞杯^G_m）、**カスタンジャー**（マーキュリーC^J_hIII）、**サンライズフレーム**（テレ玉杯オーパルスプリント^J_hIII）、**コンティノアール**（栗東S・L）、**コンシリエール**（オアシスS・L）

母エピセアローム

北海道安平町 ノーザンファーム生産 中央22戦4勝（セントウル^S_{GII}、小倉2歳^S_{Gm}、オパール^S_{Op}、CBC賞^G_m2着、チューリップ賞^G_m2着、淀短距離^S_{Op}2着、セントウル^S_{GII}3着、北九州記念^G_m3着）

シトラスノート（16 牝父ロードカナロア）中央23戦3勝（久多特別）
（17 牝父エビファネイア）

ハルサムノート（20 牝父モーリス）中央23戦4勝（朱鷺S・L、白百合S・L、浜松S、淀短距離S・L2着）
（21 牝父レイデオロ）

スターアニス 本馬（23 牝父ドレフォンUSA）中央4戦2勝（阪神ジュベナイルフィリーズ^{G1}、中京2歳^S_{Gm}2着）獲得総賞金84,768,000円
（24 牝父エフフォーリア）
（25 牝父シュネルマイスターGER）

※18（不受胎）、19、22（流産）

祖母ラタフィアUSA

中央5勝（北沢特別、元町特別）、99年輸入。19年死亡
ラターシュ（06 牝父マーベラスサンデー）中央4勝（両津湾特別、鳥取特別）
エクセルサス（07 牝父スペシャルウィーク）中央3勝（皿倉山特別、御堂筋S2着、若駒^S_{Op}3着）

エピセアローム（09 前出）

アッラサルーテ（13 牝父ダイワメジャー）中央4勝（アネモネ^S_{Op}2着）

曾祖母サクラファビュラス Sakura Fabulous

イギリス産 仏0勝、障害0勝、サビアーレUSA（菜の花賞^{Op}2着）の母、**カボーティスター**（日経新春杯^G_{II}、日経賞^G_{II}2着）の祖母

母の雪辱を果たし2歳牝馬の頂点へ

アルテミスSを完勝したフィロステファニアが故障で引退、ファンタジースの覇者フェスティバルヒルも骨折のため戦線離脱を余儀なくされ、2025年の阪神ジュベナイルフィリーズは28年ぶりに重賞ウイナーが不在のメンバー構成で争われた。そのなかで単勝2・6倍と断然の支持を集めたのは新馬戦野路菊Sを連勝中のアランカール。しかし5着に終わった同馬を尻目に世代最初の頂点へ駆け上がったのは、対抗候補と目されていたスターアニスだった。

ヒズマスターピースとフロムレイブンが雁行して引つ張ったレースは、前半600mの通過が33秒7と速い流れ